

# 安井小学校 学校だより

## 第2回 学校評価特別号

令和2年3月  
 京都市立安井小学校  
 校長 當麻 章英  
 TEL075-841-3130 fax075-811-3333  
 HP <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/yasui-s/>

### ☆令和元年度 第2回 学校評価のまとめ☆

1月に行った学校評価アンケート結果についてお知らせします。

#### <学校生活について>

安井小学校では、「~~輝く~~ 安井の子の育成」を学校教育目標として教育活動を推進しています。本校の教育がめざす子ども像は「生きる力」を育む「知・徳・体」の3つで構成し、「やさしく思いやりのある子」「すすんで学習を進める子」「いきいき元気な子」の育成を目指しています。

学校評価アンケート結果のうち、「元気に安全に学校生活を送っている。」の項目で、低学年で約94%、高学年で約97%の児童が「できている。」と答えています。また、保護者アンケートでも約96%が「子どもは元気に安全に学校生活を送っている。」と回答しています。元気に安全に学校生活を送ることに気を付けている子どもが多く、「いきいき元気な子」が実現され、「~~輝く~~ 安井の子の育成」に近づいていると感じます。

	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
(低学年) げんきにあんぜんにがっこうせいかつをおくっている。	76.3%	17.5%	4.4%	1.8%
(高学年) 元気に安全に学校生活を送っている。	66.3%	30.7%	2.9%	0.0%
(保護者) 子どもは元気に安全に学校生活を送っている。	53.8%	41.9%	3.3%	1.0%

#### <学習について>

「授業中は自分から進んで学習したり、発表したりしている。」という問いに対して低学年の約92%、高学年の約75%が「している。」と答えています。このことから、低学年では概ね学習に対して積極的に取り組んでいるが、高学年では4分の1の子が学習に前向きではないことがわかります。高学年になるにつれて、学習内容が難しくなり、主体的に学習するのが困難になる子どももいますので、今一度、授業の計画を見直し、進ん

で学習したり、発表したりできる環境作りに取り組んでいきます。また、保護者の約93%が「学校は、学習内容がよくわかり、基礎・基本の学力がつくように支援している。」と答えています。多くの保護者の皆様に学校は、子どもたちの学力がつくように支援をしていると認めていただいておりますが、これに甘んじることなく、今後も継続して学力定着のための取組を考えていきます。

「すすんで学習を進める子」を実現するために、学習の定着を図る取組を行い、主体的に学習できる授業の工夫、さらには、保護者の皆様と連携をとりながら家庭学習の習慣化を図り、目指す子ども像に近づけていきたいと考えております。

	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
(低学年)じゅぎょうちゅうは、じぶんからすすんでがくしゅうしたり、はっぴょうしたりしている。	51.8%	31.6%	12.3%	4.4%
(高学年)授業中は、自分から進んで学習したり、発表したりしている。	38.2%	36.3%	19.1%	6.4%
(保護者)学校は、学習内容がよくわかり、基礎・基本の学力がつくように支援している。	38.4%	55.0%	6.6%	0.0%



#### <みそあじについて>

本校で長年取り組んでいる「みそあじ運動」の結果です。

「みじたく、学校の準備ができる。」については低学年の約96%、高学年の約92%が「できる。」と答えています。保護者の回答でも、約90%が「できる。」という回答でした。子どもが自ら準備できるようにご支援いただきありがとうございます。その一方で忘れ物が目立つ児童も少なくないです。学校でも引き続き指導をしていますが、児童が忘れ物をしない工夫などをご家庭でも一緒に考えていただけましたらありがたいです。

「そうじ、身の回りの整理・整頓ができる。」については、低学年で約84%、高学

年の約80%が「できている。」と答えています。本校の子どもたちががんばっていることの一つとして、そうじがあげられます。みんなで協力しながら取り組むのはもちろんのこと、時間内にすみずみまできれいにそうじすることをどのクラスもがんばっています。全校美化活動では、校内だけでなく校外に出かけて美化活動を行う学年もあります。地域にも目を向けて、清掃活動をし、学校だけでなく地域もきれいにしようという取組を今後も行っていきます。



「あいさつを進んでできる。」については、低学年で約91%、高学年で約83%の児童が「できている。」と答えています。朝出会ったときに、大きな声であいさつをしている児童がおり、とても気持ちよくあいさつができています。職員室に来る児童の様子を見ても、しっかりとあいさつができています。一方ですすんで自らあいさつをする児童は少ないように感じます。あいさつをすると元気が湧いていきます。あいさつをすることのよさを感じ、自らあいさつができる児童を増やしていきたいと思いません。

「時間やルールを守って行動できる。」については、低学年で約91%、高学年で約94%の児童ができると答えています。子どもたちは、チャイムを意識して行動しています。予鈴がなったら遊びをやめて、すぐに教室にもどる児童が多くいます。ただ、なかなか遊びをやめずに時間を意識できていない児童も少なくありません。

今後は「あまりできていない。」という子どもたちができるように、「みそあじ運動」の取組を推進していきたいと思っております。

(低学年)	よく出来ている	大体出来ている	あまりできていない	出来ていない
みじたく、がっこうのじゅんぴができる。	64.6%	31.0%	3.5%	0.9%
そうじ、みのまわりのせいり・せいとんができる。	44.7%	39.5%	14.9%	0.9%
あいさつをすすんでできる。	69.9%	21.2%	7.1%	1.8%
じかんやルールをまもって、こうどうできる。	61.7%	29.6%	6.1%	2.6%

(高学年)	よく出来ている	大体出来ている	あまりできていない	出来ていない
みじたく、学校の準備ができる。	43.3%	48.3%	5.0%	3.5%
そうじ、身の回りの整理・整とんができる。	35.6%	43.9%	18.0%	2.4%
あいさつを進んでできる。	46.1%	36.9%	13.1%	3.9%
時間やルールを守って行動できる。	41.4%	52.2%	4.4%	2.0%

(保護者)	よく出来ている	大体出来ている	あまりできていない	出来ていない
みじたく、学校の準備ができる。	46.9%	42.6%	9.4%	1.1%
そうじ、身の回りの整理・整とんができる。	13.3%	41.6%	39.1%	6.1%
あいさつを進んでできる。	21.4%	55.8%	20.5%	2.3%
時間やルールを守って行動できる。	28.3%	50.9%	14.3%	6.5%

### <早寝・早起き・朝ごはんについて>

「早寝・早起き・朝ごはんができている。」と答えたのは低学年で約76%、高学年で約79%です。保護者アンケートでは、「早寝・早起きをさせている」が約65%、「子どもは朝ごはんを毎日食べている。」は約93%になっています。

「早寝、早起き、朝ごはん」の生活習慣は心と体の成長に大きく関わっていきます。また、学習への影響も出てきますので、基本的な生活習慣を確立することがとても大切になっています。そのために日ごろから「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化を目指し、規則正しい生活リズムの確立をお願いしたいです。

令和元年度第2回学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。皆様からのご意見をしっかり受け止め、来年度の学校運営をはじめ日々の教育活動に生かしていきたいと考えています。

